様式１－１

［報告書］

実践校に関する事項

学校区分	学校名	学校長名
小学校	那智勝浦町立下里小学校	堺　高行

学校所在地

（〒647－0071）　和歌山県東牟婁郡那智勝浦町下里2862
tel　0735　(58)　0021　　fax　0735 (58)　0949

担当者名	役職名・担当教科
河野　美麻 ・ 西　起也	教諭 ・ ５年生担任　６年生担任

〔学校の概要〕

本校は太田川の河口部に位置し、校区内には平野部と海岸台地がある。かつては木材の集散地として人々がさかんに往来した。そのため、商業地としても栄えたが、林業の衰退に伴い地域の産業構造も変化した。現在、保護者の多くは地域外に就労しているが、代々当地区で居住している家庭も多い。教育への関心も高く、社会教育活動への参加も熱心で、人々の連帯感も強い。佐藤春夫（1892～1964）の曾祖父で歌人でもあった佐藤百樹が私塾「懸泉堂」を開き、教育に当たったことから、歴史的に見ても教育に関心が高い地域であるといえる。

研究実践に関する事項

対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年５・６年生　２１名	４名　　職員３名	本校・熊野参詣道大辺路・中辺路、熊野本宮大社

実践研究テーマ

子どもが気づき、考え、安心して伝え合う学習活動

実践教科等名	単元名
総合的な学習の時間	５年生「発見！地域のたからもの」 ６年生「守ろう！地域のみらい」

〔キーワード〕世界遺産学習　地域学習　総合的な学習の時間

〔単元目標〕

１　「地域のたからもの」について詳しい方や和歌山県世界遺産センターの方々から話を聞いたり、実際に熊野参詣道を歩いたりすることで、自分たちの地域の魅力を理解する。（知識及び技能）

２　世界遺産の意義や未来に伝え残していくという考え方を知り、これからの地域のあり方について自分なりの考えをもち、発信していく。（思考力、判断力、表現力等）

３　自分たちの住んでいる地域のたからものについてすすんで調べ、より良い地域の未来について考えようとする。（学びに向かう力、人間性等）

〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び　学習活動名／教材名）〕

５年　全体　１５時間　（「世界遺産について調べよう・まとめよう」　１０時間　）
６年　全体　３０時間　（「考えよう！地域のみらい」　１１時間）

〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕

那智勝浦町教育委員会生涯学習課・・・総合的な学習の時間「清水峠を歩こう」
和歌山県世界遺産センター・和歌山県世界遺産マスターの方々・・・次世代育成事業（世界遺産講座・現地学習　等）

様式１－２

［報告書］

実践校に関する事項

〔**単元指導計画概要**〕

【５年生】「世界遺産について調べよう・まとめよう」

	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
１・２	・世界中の世界遺産を調べてみよう。 ・興味のある世界遺産を調べ、まとめよう。	・これまでの経験から、世界遺産について知っていることを出し合うようにする。 ・インターネットを利用しながら、世界遺産について多くの情報を収集し、個々にまとめるようにする。	学びに向かう力、人間性等 （観察・ワークシート）
３・４・５・６	・自分たちの地域にある世界遺産について調べよう。 熊野三山　熊野那智大社　青岸渡寺 補陀洛山寺　熊野参詣道　那智の滝 那智原始林 ・和歌山県世界遺産センターの方から、世界遺産講座を受ける。	・４年生の時に社会科「地域にのこしたいもの」で学習したことや清水峠を歩いたことなどを思い出せるように、昨年の資料を用意しておく。 ・パンフレットやガイドマップ、インターネットなどで情報を集めるようにする。 ・参詣道ウォークに向けて世界遺産講座を受講し、世界遺産の価値を理解する。	知識及び技能 （ワークシート） 学びに向かう力、人間性等 （観察・ワークシート）
７・８・９	・世界遺産の場所を訪れよう。 【フィールドワーク】 熊野参詣道中辺路（伏拝王子跡～熊野本宮大社）を歩こう。 参詣道の保全活動をしよう。	・和歌山県世界遺産マスターの方々の話を聞きながら参詣道を歩き、その素晴らしさを実感できるようにする。 ・実際に道普請の作業を行うことによって、参詣道の今の状態を自分たちで守っていくという意識づけをさせる。	知識及び技能 （ワークシート） 学びに向かう力、人間性等 （観察・ワークシート）
１０	・聞いたことや体験したことをもとに学習を振り返り、たからものカードにまとめよう。	・写真、資料、ワークシートを基に学習を振り返る。 ・フィールドワークで得た情報も活用できるようにする。	思考力、判断力、表現力 (観察・ワークシート)

【６年生】「考えよう！地域のみらい」

時	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
１・２・３	・自分たちの地域にどんなものや場所があるか調べよう。 これまで調べてきた地域のことで、調べてみたいことを調べる。 清水峠、下里古墳、下里水路観測所 佐藤春夫、懸泉堂、熊野古道、 那智の滝、勝浦温泉、世界遺産	・これまでに社会科や総合的な学習の時間に学習してきたことを写真で振り返るようにする。 ・パンフレットやガイドマップ、インターネットなどで情報を集めるようにする。	知識及び技能 （ワークシート） 学びに向かう力、人間性等 （観察・ワークシート）
４・５・６	・地域の未来について考えよう。 地域を活性化していくには、どうすれば良いか考える。 ・和歌山県世界遺産センターの方から、世界遺産講座を受ける。	・地域の人たちから実際の声を聞く機会を設け、身近な問題として捉えることができるようにする。 ・参詣道ウォークに向けて世界遺産講座を受講し、世界遺産の価値を理解する。	学びに向かう力、人間性等 （観察・ワークシート） 思考力、判断力、表現力 （観察・ワークシート）
７・８・９	・世界遺産の場所を訪れよう。 【フィールドワーク】 熊野参詣道中辺路 （伏拝王子跡～熊野本宮大社）を歩こう。 参詣道の保全活動をしよう。	・和歌山県世界遺産マスターの方々の話を聞きながら参詣道を歩き、その素晴らしさを実感できるようにする。 ・実際に道普請の作業を行うことによって、参詣道の今の状態を自分達で守っていくという意識づけをさせる。	学びに向かう力、人間性等 （観察・ワークシート） 知識及び技能 （ワークシート）
１０・１１	・学習したことをまとめ、発表しよう。	・写真、資料、ワークシートをもとに学習を振り返る。 ・フィールドワークで得た知識も活用できるようにする。 ・次単元「地域の未来について提案しよう」につながるよう、世界遺産の考え方やユネスコの理念についても取り上げるようにする。	思考力、判断力、表現力 （観察・ワークシート）

〔単元学習の成果と課題〕

【成果】

5年生は昨年度、総合的な学習の時間を使って清水峠を歩いた。「なちかつ古道を守る会」の方に、地域の昔の様子や熊野古道についてお話しいただき、地域のたからもの」として世界遺産への興味を高めた。清水峠を歩いた際には、一人数個ずつ石を運び道普請の経験もさせていただいた。今年度は範囲を広げ、熊野三山や熊野地域の世界遺産について学習した。熊野参詣道を実際に歩く中で、世界遺産の偉大さや美しさ、ずっと大切に守られてきたものであるということを感じ取ることができた。

6年生は一昨年には清水峠、昨年度には本宮大社周辺を歩き、道普請をさせていただいた。現地での学習を通して、改めて世界遺産の素晴らしさを肌で感じることができた。また、和歌山県世界遺産マスターの方々に様々な話を聞かせていただけたことで、その魅力を存分に知ることができ、これからは自分たちが守っていかなければならないものであるという思いを強くした。

【課題】

道普請の活動を通して、参詣道を自分たちの手で守っていくことは大変なことだという実感をもつはできた。先人たちにより守られてきた世界遺産を、これから先の未来へ守っていきたいという気持ちや、もう一度訪れてみたいという気持ちも芽生えたが、学習したことを何らかの形で地域に発信できたら、さらにこの学習への深まりが増すと感じた。

〔世界遺産学習の効果〕

世界遺産について調べたり、実際に歩いたりすることにより、興味・関心が高まり自分たちの身近にある世界遺産にも目を向ける児童が増えた。また、世界遺産マスターの皆さんの話を聞き、その価値や素晴らしさを感じ取ることができた。さらに、自分たちの手でどのようにして守っていくことができるのか考えるきっかけになった。また、継続して実施していることにより、高学年の姿を見た低学年の児童も自分たちが学習できることを楽しみにしている。

〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕

世界遺産センターの方に事前授業をしていただき、児童は世界遺産についてより理解を深め、興味関心を高めることができた。さらに校内での事前学習の内容を充実させ、確かな学びにつなげていきたい。また、体験後に学習内容を深める時間があまり確保できなかったので、今後計画的に取り組めるようにしたい。

世界遺産学習を進めていくにあたって、まずは教員の世界遺産に対する知識を増やし、教員自身がその価値を理解しておく必要がある。和歌山県世界遺産センターや町の世界遺産担当課、和歌山県世界遺産マスターの方々等に協力いただくなどして研修の機会を設けるようにしていきたい。

校区内に世界遺産があるという環境を生かしながら、今後も世界遺産学習に取り組んでいきたい。自分たちの住む町に素晴らしい世界遺産があることを誇りに思い、大切に守り続けていく実践的な態度を育てていきたい。

様式２

令和６年度　「次世代育成事業」における学習記録　　［報告書　　学習記録・活動写真］

児童の感想・学習のまとめより抜粋

歴史の話が多くて、知らない話ばかりだったのですごく楽しかったです。特に本宮大社の参拝方法が印象に残りました。鳥居は真ん中に神様がいるので、はしを通ることや、階段がなぜ急な坂のように作られているかなど、考えたこともないような話ばかりで勉強になりました。もう一つは、三軒茶屋にあったバイオトイレです。思っていたのと全然ちがって、昔のトイレはこんな感じだったのかと驚きました。（６年生児童）

道普請はあまりつかれないと思っていたけど、思ったより大変でつかれました。でも、みんなと協力してがんばって土を運んだおかげで全部運び切れて楽しかったし、うれしかったです。熊野古道を歩いているときにうらじろやアサマリンドウなどいろいろな植物を知ることができてうれしかったです。歩いているときに「歩きやすいな。」と思ったら道普請されていて、道普請のありがたさが分かりました。寄り道したとき大きい鳥居を見たら、とてもきれいで感動しました。（５年生児童）

道普請はとてもつかれたけど、土を運ぶのはとても楽しかったです。それに、熊野古道を歩いて、本宮大社まで行くのも楽しかったです。だけど、アサマリンドウがさいているのを見られなかったのは少し残念でした。うらじろやコシダ、シシガシラは少し似ているのだなと思いました。とてもつかれたけど楽しかったです。こんどは１～７５まで歩いてみたいです。（５年生児童）

私は「少し登るだけ」と甘く見ていたけど、登ってみたら足がつぶれたみたいにいたくてびっくりしました。でも、きれいな花や自然がたくさんあって、足はいたかったけど楽しくて、また行きたいなと思いました。外国人もたくさんいて、熊野古道はたくさんの人に愛されているのだなと思いました。次は本宮だけでなく、他のところも登ってみたいです。（５年生児童）